

# 日本地衣学会 ニュースレター

## No.152

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

### 目次

会務報告	583
日本地衣学会評議員会(2018年9月1日)議事録/中嶋 裕之	583
日本地衣学会第17回大会総会(2018年9月1日, 栃木)報告/中嶋 裕之	587
会計幹事およびニュースレター編集委員長の交代報告/中嶋 裕之	587
お知らせ	588
ニュースレター編集委員会からのお知らせ/坂東 誠	588

### 会務報告 *Reports of the JSL Activities*

#### 日本地衣学会評議員会(2018年9月1日)議事録

*Report of the JSL Councilors' Meeting at Utsunomiya, 1 September 2018 / by NAKASHIMA Hiroyuki*

>>>>>>> 中嶋 裕之: 庶務幹事

日時: 2018年9月1日(土) 10時00分~13時15分

場所: 栃木県立博物館1階講堂

参加者(敬称略): (議長) 木下 靖浩, (評議員) 木下 薫, 河原 秀久, 坂東 誠, 坂田 歩美, 川又 明德(委任), (会長) 原田 浩, (役員) 中嶋 裕之, 原光二郎, (編集委員長) 小峰 正史

※なお, 第1回評議員会(2018年8月15日~24日, メール評議員会)議事録を含む。

\* \* \*

#### I. 2017年度事業報告

1. 会員数は, 2018年8月13日現在 164名(一

般 117, 学生 7, 海外一般 23, 海外学生 6, 有功 1, 団体 2, 名誉 8)で, 昨年と同数であった。

また, 新規名誉会員として, 山本 好和・高橋 邦夫 両元会長が推薦され, 承認された。

2. 以下の報告が承認された。

(1) 主催大会, 観察会

① 日本地衣学会第16回大会・シンポジウム(ニュースレター No.146, 147)が, 松井 透先生(高知大学)を大会委員長として, 高知大学理学部(高知市)にて7月15日~16日(参加者: 31名, 講演等: 一般講演 11題, 講演会「土佐の自然」3題, 特別講

演「セシジャンチゴケとその近縁種」吉村 庸先生)に開催された。懇親会は高知大学生協で開催され28名が参加した。

- ② 第16回学会主催観察会が栃木県日光市奥日光にて、9月2日～3日(参加者:14名)に実施された。

## (2) 学会誌等の刊行

- ① 学会誌 Lichenology 第16巻1号(2017年6月15日)、2号(2017年12月27日)が発行された。
- ② 日本地衣学会ニュースレターNo.142～149が発行された。

## (3) 委員会の活動

### ① 地域活性化委員会

第13回秋田ワークショップが、9月5日～7日に開催された。第41回青空地衣教室が工石山(高知市)にて、7月17日(参加者:21名、うち6名は土佐生物学会会員、その他2名)に実施された(ニュースレターNo.148)。

### ② 学術交流委員会

自然史学会連合対応:平成29年度自然史学会連合講演会「瀬戸内海の自然史」(大阪市自然史博物館、8月19日)の会場に、地衣学会ブースを設置した(山本好和氏対応)。また、総会に小杉真貴子氏が出席した。分担金20,000円を支払った。

日本分類学会連合対応:総会(国立科学博物館上野本館、1月7日)に棚橋孝雄会長、原田浩氏が出席した。また同日、第16回公開シンポジウム「若手分類学者の底力を見よ!～社会の眼も意識しつつ～」が開催された。分担金10,000円を支払った。

### ③ ホームページ運営委員会

サーバー移転・サイトリニューアルが行われた。昨年

に引き続き、学会活動の広報、Twitterの活用について報告があった。

### ④ 日本の地衣フロラ解明プロジェクト

現在委員会としての活動は行っていない。

## (4) 会則等の整備

「会則」、「役員を選出についての細則」、「役員選挙管理委員会についての内規」、「会長選出についての内規」、「評議員選出についての内規」、「評議員会運営についての内規」、「大会運営についての内規」、「大会準備スケジュール」、「日本地衣学会会計内規」、「学会事務局についての内規」、「名誉会員の選出についての内規」、「講師等派遣についての内規」、「学術奨励賞の選出についての内規」について、体裁及び運用上の問題点を議論し、整備を行った(7月15日、ニュースレターNo.147)。

## (5) 選挙

### ① 会長選挙

#### 1) 会長選挙結果の報告 2017年10月2日

・8月末日、推薦締切り。評議員会からの推薦者 原田浩氏(千葉県中央博)1名。

・9月29日、信任投票締切り。

・9月30日(土)、開票作業。投票総数63票、信任63票、不信任0票、無効0票。

選挙管理委員会:宮川恒委員長、濱田信夫委員、立会人:棚橋孝雄会長。

#### 2) 次期役員の指名 2017年10月4日

・原田浩次期会長により、以下の次期役員を指名(敬称略)。庶務幹事 中髙裕之、会計幹事 原光二郎、編集委員長 小峰正史。

### ② 評議員選挙

評議員選挙結果の報告 2018年1月10日

- 国内在住通常会員（次期役員を除く）を対象とし、11月24日、投票締切り。
- 11月25日（土）、開票。選挙管理委員会（宮川恒委員長、濱田信夫委員）による開票作業が、棚橋孝雄会長、竹仲由希子氏の立ち会いのもと行われた。得票数の多い順に候補者5名を選出し、その内承諾の得られた4名が次期評議員に決定。更に4名の互選により新議長を決定した後、追加候補2名を挙げ、本人の承諾を受け最終的に6名が新評議員に決定した。

この6名の新評議員会にて、以下の2名の監事が決定された（敬称略）。

投票用紙 36枚  
 有効票数 175票  
 木下靖浩 19票（議長）  
 川又明德 15票（監事）  
 高取（木下）薫 14票（監事）  
 河原秀久 13票  
 坂東誠（追加）  
 坂田歩美（追加）

\* \* \*

## II. 2017年度決算報告・監査報告

報告は承認された。

\* \* \*

## III. 入・退会者承認

入会および退会者について承認された。

\* \* \*

## IV. 2018年度事業計画

### 1. 役員等

2018—2019年度役員・幹事・委員会について、以下の報告がされた（敬称略）。

- 会長：原田浩（千葉）
- 庶務幹事：中嶋裕之（久留米）

- 会計幹事（2017～2018年）：原光二郎（秋田）
- 監事：川又明德（新居浜）、高取（木下）薫（清瀬）
- 評議員：議長、木下靖浩（横浜）、川又明德（新居浜）、高取（木下）薫（清瀬）、河原秀久（吹田）、坂東誠（池田）、坂田歩美（千葉）
- 編集委員会：委員長、小峰正史（秋田）；委員、木下靖浩（横浜）、松本達雄（東広島）、Theodore L. ESSLINGER, (North Dakota, U.S.A.), Jae-Seoun HUR, (Suncheon, Korea), 川又明德（新居浜）、小杉真貴子（東京）、坂田歩美（千葉）、高橋奏恵（広島）、王欣宇（中国・昆明）
- ニュースレター編集委員会：委員長、川上寛子（秋田）；委員、坂東誠（池田）、河崎衣美（奈良）
- 地域活性化委員会：委員長、川又明德（新居浜）。〈北海道・東北地域〉小林寿宣、原光二郎；〈信越地域〉小山内行雄、滝沢寿一；〈関東・中部地域〉綿貫攻、木下靖浩、今井正巳、小杉真貴子、坂井広人；〈近畿地域〉高萩敏和、坂東誠；〈中国・四国地域〉川又明德、高橋奏恵；〈九州地域〉中嶋裕之
- ホームページ委員会：委員長、原光二郎（秋田）
- 学術交流委員会：自然史学会連合担当、原田浩；日本分類学会連合担当、原田浩（→坂田歩美）、日本植物学会等の担当については検討中。
- 日本の地衣フクロウ解明プロジェクト：委員長、原田浩

### 2. 主催大会、観察会

- (1) 日本地衣学会第17回大会（栃木）が坂井広人大会委員長（栃木県立博物館）によって、栃木県立博物館（宇都宮市）にて、9月1日～2日に開催。
- (2) 第17回学会主催観察会が、黒髪山、竜門峡（佐賀県西松浦郡有田町）にて、9月15日～16日に実施。

\* \* \*

### 3. 印刷物発行

- (1) 学会誌 Lichenology 第17巻1号(7月予定),  
2号(12月予定);編集委員会
- (2) 日本地衣学会 ニュースレター(ホームページで随  
時公開,配布方法は検討中);ニュースレター編集委  
員会

### 4. 委員会報告

- (1) 地域活性化委員会
  - ・第42回青空地衣教室の開催は未定.
  - ・第14回秋田ワークショップが秋田県立大学にて8  
月7日~9日に開催予定.
- (2) 学術交流委員会
  - ・自然史学会連合:12月に開催予定の総会に地衣学会  
からの参加を検討中である.また講演会(10月29  
日,富山市立自然史博物館)が開催されるとの報告が  
あった.分担金20,000円は支払う予定.
  - ・日本分類学会連合:総会(1月6日,国立科学博物  
館上野本館)に出席(原田 浩会長,木下 薫氏),ま  
た同日,第17回日本分類学会連合公開シンポジウ  
ム「分類学に関わる法律および新しい情報収集ツ  
ール」が開催されたとの報告があった.分担金10,000  
円は支払う予定.
  - ・その他:植物学会,菌学会等について委員会の対応を  
事務局で検討する.
- (3) ホームページ運営委員会
- (4) 国際学会対応委員会
  - ・担当を検討中である.
- (5) 日本の地衣フロア解明プロジェクト
  - ・フロア調査等:長野県大町市の地衣植生について  
「NPO 地域づくり工房」傘木 宏夫氏から,調査・観  
察等の依頼があり,原田 浩委員長が対応する.

### V. 2018年度予算案

VI. 審議事項1. ニュースレターの発行方法について  
審議・承認を経て本予算案は承認された.

\* \* \*

### VI. 審議事項

#### 1. ニュースレターの発行方法について

従来,ニュースレターの印刷は庶務幹事が対応して  
いたが,その印刷費用は予算に計上されていなかった.  
そこで,ニュースレターの発行方法,印刷方法及び経費  
について検討を行った.その結果,ウェブ版としてはこ  
れまでと同様に随時発行し,配布版としてウェブ版を  
まとめたものを年2回印刷業者に発注することとした.  
なお,本件は今年度に限る対応である.

#### 2. 学生発表賞について

学生発表賞について,A賞を綿貫 攻氏(秋田県大)  
に,B賞を山口 遥氏(秋田県大)にそれぞれ授与する  
ことが報告された.

#### 3. 各委員会等の課題について

##### (1) 一般/学生会員の切替時期と会員の権利について (会計)

本件について切替時期に関して審議され,現在1  
月1日時点での対応としているが,学生会員の権利  
についてはある程度柔軟に対応したい.但し,一般会  
員への切替が判明した時点で速やかに会員情報更新  
を行うよう依頼することとした.

##### (2) 各種学会への対応について(庶務)

植物学会,菌学会,国際学会等対応の各委員につい  
て審議した.その結果,菌学会及び国際学会につい  
ては原 光二郎氏に対応してもらうこととした.その他  
学会については,日本地衣学会員の中で各学会への

参加者に対応いただくよう依頼を検討することとした。

(3) 学会誌発行に当たってのカラーチャージ、ページチャージについて（編集委員会）

首記チャージ料について、学会経費の中で対応できる範囲であれば支払うが、著者で支払いが可能であれば依頼することとした。

4. 来年度以降の大会、観察会について

今後の首記開催地について議論し、基本的には東西にて交互に行うことを基本にしたいが、各地域での組織づくりも検討したいとの意見がでた。

5. 2019年度 会計幹事について

現会計幹事の原 光二郎氏には1年間延長依頼をしたが、今年度一杯の任期であるため、次期同幹事について候補者を検討することとした。

6. 第18回日本地衣学会大会について

第18回日本地衣学会大会開催場所および日程について下記のように決定した。

日時：2019年7月13日(土)～14日(日)

会場：大阪府立大学

大会委員長：古田 雅一 氏（大阪府立大学）

---

## 日本地衣学会第17回大会総会（2018年9月1日、栃木）報告

*Report of the General meeting at 17th Annual Meeting of the Japanese Society for Lichenology (Utsunomiya, 1 September 2018) / by NAKASHIMA Hiroyuki*

>>>>>>> 中嶋 裕之：庶務幹事

日本地衣学会第17回大会総会を2018年9月1日、栃木県立博物館にて開催いたしました。中嶋庶務幹事が当日午前中に開催された評議委員会での報告事項、審議事項、承認事項について報告いたしました。特に質

問、コメントはありませんでした。以上、皆様のご協力を得まして、滞りなく総会を終了することができました。

---

## 会計幹事およびニュースレター編集委員長の交代報告

*Treasurer and Newsletter Editor-in-chief changed, 2019 / by NAKASHIMA Hiroyuki*

>>>>>>> 中嶋 裕之：庶務幹事

2019年1月1日から会計幹事は川上寛子さんに、ニュースレター編集委員長は坂東誠さんに交代しま

した。

## ニュースレター編集委員会からのお知らせ

*From Editorial Board of the JSL Newsletter / by BANDO Makoto*

>>>>>> 坂東 誠：ニュースレター編集委員長

### ニュースレター編集委員交代のお知らせ

本誌は、川上寛子（秋田県立大学）さんを委員長として編集を進めてきましたが、No.152 から坂東誠（大阪府池田市）が委員長を引き継ぎました。川上さん大変お

疲れさまでした。今号から、坂東誠（大阪府池田市）、河崎衣美（奈良県立橿原考古学研究所）の新体制で編集にあたります。皆様、どうぞよろしくお願い致します。

---

### ◆原稿募集

本誌は、会員からの原稿を随時募集しています。地衣類にまつわるエピソード、思い出、あるいは地衣類に関する写真とタイトル、簡単な説明文だけでも受け付けます。電子メールにて次のアドレス宛に投稿御願います：

bandomakoto@aa6.mopera.ne.jp（坂東 誠）

### ●複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体からの許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接本会へご連絡ください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 学術著作権協会。

Tel: 03-3475-5618. Fax: 03-3475-5619. E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA.  
Phone: (978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744

### ●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the Japanese Society for Lichenology.

Except in the U.S.A.: Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC).

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan. Tel: 81-3-3475-5618. Fax: 81-3-3475-5619. E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

In the U.S.A.: Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA. Phone: (978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744.

●*Newsletter from the Japanese Society for Lichenology*, no. 152, pp. 583-588: eds. Bando M., Kawasaki E., published by *the Japanese Society for Lichenology*, 14 Feb. 2019.

---

### 日本地衣学会ニュースレター152号

発行日：2019年2月14日

編集：坂東誠・河崎衣美

発行者・発行所：日本地衣学会

〒830-8555 福岡県久留米市小森野1-1-1

久留米工業高等専門学校 生物応用化学科内

---

---

©2019日本地衣学会 (© 2019 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複写等は固くお断りいたします。